



# 農作業一口メモ

(平成30年1・2月号)

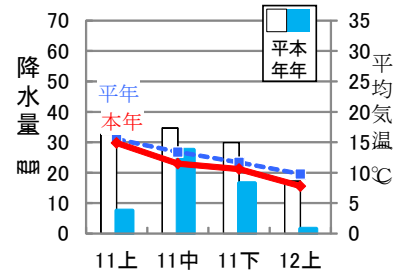
鳴門藍住農業支援センター  
鳴門藍住地区農業生活指導班会

## 気象 <四国地方1ヵ月予報(12月31日~1月30日)>

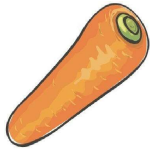
北からの寒気の影響を受けやすく、またシベリア高気圧が平年より強い見込みです。このため、向こう1か月の気温は低く、期間のはじめは気温がかなり低くなる可能性があります。

向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並みか多い見込みです。

12月7日発表 高松地方气象台



### にんじん



#### <栽培のポイント>

- 斑点細菌病・菌核病は、低温多湿条件で発病が多くなります。早播きに発生が多いため、適期換気に努め、1月中旬から薬剤による予防を行いましょう。
- 本葉5~6枚頃に芯葉が埋まらない程度に充分土寄せし、青首を防ぎましょう。

#### <温度管理について>

- 土寄せ時期以降はトンネル内の最高温度が28℃以上にならないように、外気温が上昇するにしたがって換気孔を増やしましょう(目安は23~25℃)。
- 菌核病は低温多湿条件で発病が多くなります。斑点細菌病は、換気が遅れ温湿度が急上昇した場合に蔓延しやすいので、適期換気に努めるとともに薬剤による予防を行いましょう。

### だいこん



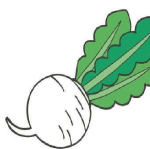
#### <1月の管理について>

- 黒斑細菌病やアブラムシの発生に注意し、早めの防除を心がけてください。

#### <2月の管理について>

- すでに収穫が終わっているほ場が多いと思います。収穫が適期を過ぎそうな場合は、割れによる傷口から病気が侵入することがあるので、使用日数に注意して早めに防除を行ってください。

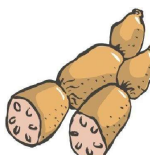
### かぶ



#### <収穫の注意点について>

- 晩秋・冬播きのトンネル栽培の収穫が始まります。小かぶは6cm程度、中かぶは12cm程度で順次収穫しましょう。
- 厳寒期の収穫では朝に葉が凍ることがあります。収穫は茎葉の氷が溶ける朝9時以降か夕方に行い、茎葉に傷がつかないように注意しましょう。

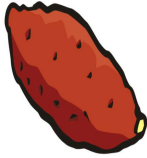
### れんこん



#### <土壌分析を行いましょう>

- 収穫の終わったほ場から土壌分析を行い、土壌中に肥料がどの位残っているか把握し、効率的な施肥に努めましょう。
- 石灰の施用量が多い傾向にありますので、土壌の石灰濃度とpHに注意しましょう。

## かんしょく2月の管理について



### 育 苗

○気温が低いと苗の活着や生育が遅れ、つるが伸びにくくなります。地温が上がりやすいように早めにトンネルをかけ、必要に応じて電熱線やボイラーを利用してください。床温は20℃～25℃が目安です。

### 本ぼ（作付け準備）

○土壌pHがやや低い(6程度)ほ場が見受けられます。土壌診断を参考に苦土石灰等を施用して矯正(最適pHは6.5)してください。  
○D-Dの処理が遅い場合、芋の形状に影響が出る場合もあります。また、クロルピクリンの危被害がおこらないよう、クロルピクリン処理を早めに行う必要がありますので、D-Dの未処理ほ場は、早急に処理を行ってください。

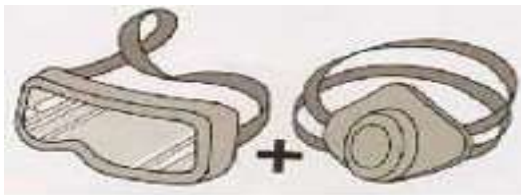
～土壌くん蒸剤（クロルピクリン・D-D剤等）を安全に使用するために～

かんしょ栽培に向けて土壌くん蒸剤を処理する時期となりました。かんしょ栽培のためには必須な薬剤ですが、使用する農家自身や周辺の住民への危被害が問題になることもあります。

注意事項を守って、事故が発生しないように正しく使用して下さい。

### 【注意事項】

- 土壌くん蒸剤を使用する時は、事前に圃場周辺や近隣に周知して下さい。特に住宅付近では十分に配慮して下さい。
- 作業を始める前に、必ず注入機が正常に作動するか確認して下さい。
- 必ず正しい防護衣・保護具を着用して下さい。作業中に臭気を感じたら、すぐに吸収缶を交換して下さい。



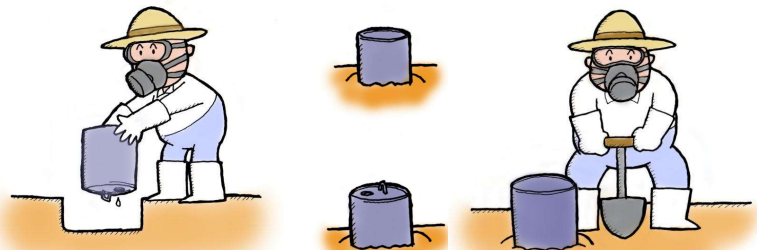
クロルピクリンガスが  
漏れ込まないゴーグル + 吸収缶と面体から  
型保護眼鏡 なる「土壌くん蒸用  
防護マスク



- 作業中およびくん蒸中には、圃場に人や家畜が立ち入らないようにして下さい。

- 暖くなる前の3月上旬頃までの風のある日を選び、風下での作業は避けて風上で処理して下さい。

- 空き缶は、使い切って周囲に影響のない場所で、倒れないように逆さまに置き、薬臭が完全に無くなるまで放置して下さい。



- 使用後の空き缶は、お住まいの地域で定められた方法で、産業廃棄物として処分して下さい。

鳴門藍住農業支援センターのホームページでも掲載しています。

[http://www.pref.tokushima.jp/shien/naruto\\_aizumi/](http://www.pref.tokushima.jp/shien/naruto_aizumi/)

※提案・お問い合わせについては、鳴門藍住農業支援センターまで

電話番号：088-692-2515

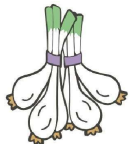
## にんにく



### <2月の管理について>

- 冬季の乾燥は収量・品質に大きく影響するので、土壌の水分状態をみながら、暖かい日の午前中に適宜畝間かん水を行いましょ。
- 寒害等による傷から病原菌が侵入し春腐病や葉枯病が発生するので、この時期から防除を開始しましょ。
- 雑草の発生状況をみながら、除草剤を散布しましょ。

## らっきょう



### <1月の管理>

- 小玉の2回目の追肥がまだの場合は、早めに追肥をしましょ。
- 土寄せし、球の露出による緑化で商品価値が低下しないようにしましょ。

### <2月の管理>

- 冬季の乾燥は収量・品質に大きく影響するので、土壌の水分状態をみながら、暖かい日の午前中に適宜畝間かん水を行いましょ。
- 寒害等により傷から病原菌が侵入し春腐病や葉枯病が発生するので、この時期から防除を開始しましょ。

## たまねぎ



### <追肥を行いましょ>

- 地上部の生育が緩慢な時期ですが、この時期の施肥が春の生育・収量に大きく影響しましょ。  
春からの本格的な肥大に向けて追肥を施して下さい。  
但し、窒素の過剰な追肥は生育の遅れにつながるため、葉色などを見て施肥量を調整して下さい。
- 冬場に乾燥させると、収量・品質に大きく影響するので、土壌の水分状態を見ながら、適宜畝間灌水して下さい。

## レタス



### <灌水と温度管理>

- 冬場乾燥すると小玉のまま固くなるので、次の日に水が畦間に溜まらない程度を目安に適宜かん水を行いましょ。
- 気温の変動が大きい時期なのでトンネル内の温度管理に注意し、結球開始までは最高気温25℃以下で、結球期には20℃以下で管理しましょ。

## なのはな



### <1月の管理について>

- 肥切れしないよう、月2回程度、1回に10aあたりリン硝安カリ、またはNK化成を20kg追肥しましょ。過剰になると死に花ができません。生育を見て加減してください。
- 頂花蕾は早めに摘心、または収穫し、わき芽の生長を促しましょ。適期のつぼみを収穫しましょ。花を咲かせると樹に負担がかかります。

### <2月の管理について>

- 追肥は2週間ごとにNK808、または硫安などを10aあたり15~20kgを施しましょ。(窒素成分では1回あたり5kg以内)
- 乾燥が続くと肥効が悪くなるので、適宜かん水を行いましょ。
- 出荷後に花が咲かないよう適期に収穫しましょ。



Facebookはじめました。

鳴門藍住農業支援センター

検索

## ブロッコリー



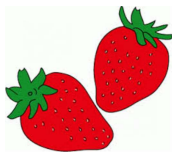
### <定植後の管理>

- 花蕾が500円玉くらいになる時期までに、2～4回に分けて追肥を施しましょう。
- 早めの防除を心がけましょう。特に外葉にべと病の病斑が見られる場合は、組織内べと病の発生に繋がるので必ず防除しましょう。

### <2月の管理>

- 寒い時期は肥料の吸収が少なくなります。遅れないように適切に追肥を行い、葉が黄色くならないように管理してください。
  - 気温の上昇とともに、病気虫の発生がみられるようになります。観察を十分に行い、発生初期に防除しましょう。
  - 春ブロッコリー（5～6月上旬収穫）の定植適期は2月下旬以降です。低温下の早期定植は、ポトニング（早期出蕾）の発生要因になるので注意しましょう。
- 収穫期間が短いので、栽培面積は一作5～10a程度としましょう！

## いちご



### <1月の管理>

- 収穫が本格化し、株の負担が大きくなる時期です。
- 新葉の展開状況を中心に株全体を観察し、草勢が弱い場合はハウス内の保温や、電照時間を長くする他、定期的な施肥や、収穫後速やかに果柄や黄化葉を除去するなど、草勢を適切に保ちましょう。
- うどんこ病、灰色かび病、菌核病も発生しやすくなりますので、適期防除に努めましょう。

### <「さちのか」の管理>

- 草丈は25cm程度を目安とし、低温や成り疲れ等による草丈低下を抑制するため、電照時間や温度管理、追肥等で草勢を調整しましょう。
- ハウス内が過湿になると灰色かび病、菌核病が発生しやすくなります。換気、加温管理による湿度抑制、枯れ葉等の早期除去、予防的な薬剤散布など行いましょう。

## ■■平成29年度農業簿記セミナー受講生募集■■

経営改善・経営発展を行うためには、経営状況がどのようになっているのかを知ることが必要不可欠です。そこでパソコンを使って複式簿記記帳を実践することで経営成績を数字で把握し、今後の経営改善に繋げるためのセミナーを開催しますので、この機会にご参加下さい。

### 1 研修内容・日時（全日程 午後1時30分から午後4時）

	日時	講座内容	その他	
鳴門藍住農業支援センター 2階 研修室	1月12日(金曜日)	○農業簿記の決算処理 講師 ソリマチ株式会社 神田 良和 先生	*「ソリマチ農業簿記」を使用した決算処理のためのポイント等について講演があります。	
	2月15日(木曜日)	○確定申告に向けた「経営研修会」 講師 税理士法人マスエージェント 伊勢 文郎 先生	*青色申告や決算に関する相談を受け付けます。	
	1月23日(火曜日) 24日(水曜日) 25日(木曜日)	○決算処理の実践 1年間の入力を終え、決算書を作成します。	*使用するパソコン簿記ソフトは「ソリマチ農業簿記」です。	
	2月 9日(金曜日) 2月14日(水曜日) 2月16日(金曜日) 3月 9日(金曜日)	・決算前の入力確認を行います。 ・簿記ソフトによる決算操作をします。	*すでに実践されている方でも経験が浅い人でも参加できます。	